

2025年度 授業要項

区 分	専門基礎分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	解剖学Ⅲ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	大野 政明			講義形式	講義
学習目標と講義概要	はり師きゅう師として必要な人体構造の知識を身に付ける。本科目では内分泌器と脈管に焦点を当て、内分泌系、血管系、リンパ系の構造について論じられるようにする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	内分泌系 下垂体		
2	1	2	内分泌系 松果体、甲状腺、上皮小体、副腎		
3	1	2	内分泌系 膵臓、性腺。循環器系 血管		
4	1	2	心臓 構造 刺激伝導系		
5	1	2	心臓 栄養血管		
6	1	2	動脈系 総頸動脈の分枝		
7	1	2	鎖骨下動脈 上肢、胸・腹部の動脈		
8	1	2	下肢・骨盤の動脈		
9	1	2	静脈系 上大静脈、下大静脈		
10	1	2	静脈系 奇静脈、上肢下肢の皮静脈		
11	1	2	門脈 胎児循環		
12	1	2	リンパ系 リンパ系器官		
13	1	2	リンパ系器官		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学 東洋療法学校協会編 : 医歯薬出版社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	解剖学Ⅳ			履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	大野 政明			講義形式	講義
学習目標と講義概要	はり師きゅう師として必要な人体構造の知識を身に付ける。本科目では主として神経系及び感覚器系に焦点を当て、中枢神経系、末梢神経系ならびに視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器の構造について論じられるようにする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	中枢神経系 脊髄		
2	1	2	中枢神経系 延髄・橋・中脳・小脳・間脳		
3	1	2	大脳半球		
4	1	2	脳室系、髄膜と脳脊髄液 脳の血管		
5	1	2	末梢神経系 脳神経 (Ⅰ～Ⅵ)		
6	1	2	末梢神経系 脳神経 (Ⅶ～Ⅻ)		
7	1	2	脊髄神経 後枝 頸神経叢		
8	1	2	腕神経叢		
9	1	2	腰神経叢		
10	1	2	仙骨神経叢		
11	1	2	自律神経系		
12	1	2	感覚器系 視覚器		
13	1	2	感覚器系 平衡聴覚器 味覚器 嗅覚器		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合 計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
解剖学 東洋療法学校協会編 : 医歯薬出版社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	生理学Ⅲ		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	川浦 渉太		講義形式	講義
学習目標と講義概要	人体を構成する各器官の正常な機能について理解する。 本科目は、複雑な人体の機能について理解を深め、それらについて論じられるようにする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	オリエンテーション	
2	1	2	第八章内分泌(A.ホルモンの特徴,B.ホルモンの種類とその働き)	
3	1	2	第八章内分泌(B.ホルモンの種類とその働き)	
4	1	2	第八章内分泌(B.ホルモンの種類とその働き)	
5	1	2	第十章神経(A.ニューロンの構造と働き,B.神経繊維の興奮伝導)	
6	1	2	第十章神経(B.神経繊維の興奮伝導,C.シナプス伝達)	
7	1	2	第十章神経(D.中枢神経系の分類と機能,E.反射)	
8	1	2	第十章神経(F.脊髄,G.脳幹)	
9	1	2	第十章神経(H.小脳,I.視床,J.視床下部)	
10	1	2	第十章神経(K.大脳)	
11	1	2	第十章神経(K.大脳,L.脳脊髄液)	
12	1	2	第十章神経(M.末梢神経系,N.自律神経系)	
13	1	2	第十章神経(N.自律神経系)	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 生理学 東洋療法学校協会編 : 医歯薬出版社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、現在も附属鍼灸院で臨床活動を行っている。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	病理学概論		履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	駒木 伸一郎		講義形式	講義
学習目標と講義概要	病理学は、疾病の原因や発生機構、疾病における形態と機能の変化を明らかにする学問領域である。 医療従事者にとって、病理学的知見は臨床能力の基盤をなす。本講義では、形態学的変化に注目した病理学総論を主体とし、基本的病変とその成立機序を理解することを目的とする。特徴的な疾病については、その原因、発生機構、形態学的変化、症状を紹介し、疾病像の理解深化を図る。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	疾病概念／病因1	
2	1	2	病因2	
3	1	2	循環障害1	
4	1	2	循環障害2	
5	1	2	退行性病変	
6	1	2	進行性病変	
7	1	2	炎症1	
8	1	2	炎症2	
9	1	2	腫瘍1	
10	1	2	腫瘍2	
11	1	2	腫瘍3／免疫異常1	
12	1	2	免疫異常2	
13	1	2	免疫異常3／先天異常	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法 1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法 単位認定試験 「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書 病理学概論：医歯薬出版株式会社				
教員について【実務経験有】 担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床医学総論 I			履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	駒木 伸一郎			講義形式	講義
学習目標と講義概要	病気になったときにみられる様々な症状や症候について学習し、推察される疾患が把握できることを目標とする。また関連する検査法、診察法について理解する。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第1章 診察の概要／第2章 診察の方法		
2	1	2	第2章 診察の方法／第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察		
3	1	2	第3章 生命徴候(バイタルサイン)の診察		
4	1	2	第4章 全身の診察		
5	1	2	第4章 全身の診察		
6	1	2	第5章 局所の診察		
7	1	2	第5章 局所の診察		
8	1	2	第5章 局所の診察		
9	1	2	第5章 局所の診察		
10	1	2	第6章 神経系の診察		
11	1	2	第6章 神経系の診察		
12	1	2	第6章 神経系の診察		
13	1	2	第6章 神経系の診察		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
臨床医学総論: 医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床医学総論Ⅱ			履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	駒木 伸一郎			講義形式	講義
学習目標と講義概要	臨床医学総論Ⅰに引き続き、様々な疾患やとりわけ各症状について学習する。はり師、きゅう師として患者の愁訴や症候を総合的に理解できることを目指す。また関連する検査法、診察法について学習する。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第7章 運動機能検査		
2	1	2	第7章 運動機能検査		
3	1	2	第7章 運動機能検査		
4	1	2	第8章 その他の診察／第10章 おもな症状の診察法		
5	1	2	第10章 おもな症状の診察法		
6	1	2	第10章 おもな症状の診察法		
7	1	2	第10章 おもな症状の診察法		
8	1	2	第10章 おもな症状の診察法		
9	1	2	第9章 臨床検査法		
10	1	2	第9章 臨床検査法／第11章 治療学		
11	1	2	第11章 治療学		
12	1	2	第12章 臨床心理		
13	1	2	まとめ		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
臨床医学総論: 医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでおり、その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野		履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床医学各論 I		履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格		使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	足立 隆彦		講義形式	講義
学習目標と講義概要	内科系分野の疾患を中心に、概念、原因、臨床症状、診断方法、治療法などについて基礎知識を習得する。解剖学、生理学、病理学の知識と疾患を関連付けて理解することを目標とする。			
回数	コマ数	時間数	学習内容	
1	1	2	第1章 感染症	
2	1	2	第1章 感染症	
3	1	2	第2章 消化管疾患	
4	1	2	第2章 消化管疾患	
5	1	2	第2章 消化管疾患	
6	1	2	第3章 肝・胆・膵疾患	
7	1	2	第3章 肝・胆・膵疾患	
8	1	2	第3章 肝・胆・膵疾患	
9	1	2	第4章 呼吸器疾患	
10	1	2	第4章 呼吸器疾患	
11	1	2	第4章 呼吸器疾患	
12	1	2	第10章 血液・造血器疾患	
13	1	2	第10章 血液・造血器疾患	
14	1	2	単位認定試験	
15	1	2	解答解説	
合計				
15	15	30		
学習方法				
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説				
評価方法				
単位認定試験				
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。				
教科書				
臨床医学各論: 医歯薬出版株式会社				
教員について【実務経験有】				
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。				

2025年度 授業要項

区分	専門基礎分野			履修学年/昼夜別	第2学年/昼
科目名	臨床医学各論Ⅱ			履修単位/時間	1単位/30時間
教員資格	鍼灸教員資格			使用教室	第2鍼灸普通教室
教員名	足立 隆彦			講義形式	講義
学習目標と講義概要	臨床医学各論Ⅰに引き続き、内科系分野の疾患を中心に、概念、原因、臨床症状、診断方法、治療法などについて基礎知識を習得する。解剖学、生理学、病理学の知識と疾患を関連付けて理解することを目標とする。				
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	第5章 腎・尿器疾患		
2	1	2	第5章 腎・尿器疾患		
3	1	2	第5章 腎・尿器疾患		
4	1	2	第9章 循環器疾患		
5	1	2	第9章 循環器疾患		
6	1	2	第9章 循環器疾患		
7	1	2	第12章 リウマチ性疾患・膠原病		
8	1	2	第12章 リウマチ性疾患・膠原病		
9	1	2	第12章 リウマチ性疾患・膠原病		
10	1	2	第6章 内分泌疾患		
11	1	2	第6章 内分泌疾患		
12	1	2	第6章 内分泌疾患		
13	1	2	第7章 代謝・栄養疾患		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
単位認定試験					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
臨床医学各論:医歯薬出版株式会社					
教員について【実務経験有】					
担当教員は鍼灸師の教員資格を持ち鍼灸治療院にて臨床経験を積んでいる。その経験に基づいて本科目について資格取得後に応用できるような授業を展開する。					